平成26年度 国際学術シンポジウム

第5回国際ラウンドテーブル会議「都市の世紀を拓く」

第3回　国際都市創造性学会（AUC）

テーマ「包摂型創造都市と文化多様性」

本国際シンポジウムは、UNESCO副事務局長.フランシスコ・バンダリン氏や近藤前文化庁長官、田中八尾市長、世界で活躍されている都市文化研究者などを招き、文化遺産の保全と都市の創造性を高めるとともに、社会的な排除を回避するための方策を示すことを目指すものである。

さらに、ノーベル賞選定に深く関わってきたアーリングノルビ教授や都市社会学者のシャロン・ズーキン教授や文化産業の権威アンディー・プラット教授ほかの議論から、生態学や医学、芸術学、都市文化学など、社会・人文科学と自然科学との相互交渉の方向性について議論を深めるとともに、災害にも強固な「レジリエンス」を獲得する方策についても論じる。

最終日には、大阪市立自然史博物館および大阪市立大学理学研究科付属植物園の歴史を知るとともに、最近の市民を巻き込んだ取り組みや国際的な協働について議論を行いたい。

日　時：平成26年**7**月**22**日（**火**）
9:15～17:55（開場8:45）

会　場：**大阪国際交流センター**
大阪市天王寺区上本町8-2-6

プログラム

同時通訳（日・英）

挨　　拶　**西澤 良記**（大阪市立大学学長）ほか

基調講演　（9:30-10:30）
「ノーベル賞と自然の驚異」
アーリング・ノルビ
（前カロリンスカ研究所教授・
前スウェーデン王立科学アカデミー事務局長）

基調パネル　（10:45-12:50）
「創造都市と世界遺産」
近藤 誠一（前文化庁長官）
フランシスコ・バンダリン（UNESCO副事務局長）
クサビエ・グレフ（パリ第一大学・ソロボンヌ 教授）
パオロ・ペルリ（イースタン・ピエモンド大学教授）

昼食

特別講演　（13:45-14:15）「八尾の自然と歴史と文化」
田中 誠太（八尾市長）

セッション1　（14:25-15:55）
「自然と都市：文化の創造性と都市間連携」
座長：**岡野　浩**（大阪市立大学教授・都市研究プラザ副所長）
マーク・ジーンソン（パリ自然史博物館・主任研究員）
飯野 盛利（大阪市立大学・教授, 植物園長）
塚腰　実（大阪市立自然史博物館・主任学芸員）
藤田　忍（大阪市立大学生活科学研究科・教授）
柴垣 直子（大阪ガス・近畿圏部・企画・開発チーム係長）

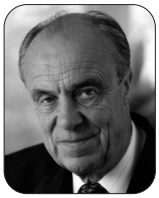
セッション2　（16:10-17:40）
「都市と科学：科学者と科学コミュニケーション」
座長：**足立 泰二**（大阪府立大学名誉教授・大阪公立大学共同出版会理事長）
フィリップ・テヘーゲン（エルゼビア社、科学ジャーナル統括部長）
ハンス・トマセン（チューリッヒ大学教授）
フランツ・ホフマン（カリフォルニア大学アーバイン校・名誉教授）
松山 壽一（大阪学院大学経営学部・教授）

主催：大阪市立大学 / URP 都市研究プラザ　国際花と緑の博覧会記念協会　大阪市立自然史博物館　大阪国際交流センター

後援：UNESCO　Elsevier　大阪ガス

〈参加者紹介〉

国際学術シンポジウム　第5回国際ラウンドテーブル会議「都市の世紀を拓く」



●アーリング・ノルビ（Erling Norrby）
スウェーデン王立科学アカデミー科学史センターシニアーリサーチャー
カロリンスカ研究所教授、ストックホルム医学大学教授、前スウェーデン王立科学アカデミー永久秘書長などを歴任。『ノーベル賞はこうして決まる』など同アカデミーが保有するノーベル賞関連古文書などを駆使しながら、重厚な科学史論を展開する世界的権威。多くのノーベル賞受賞者と親交がある。

●フランシスコ・バンダリン（Francesco Bandarin）
ユネスコ・副事務局長（文化）
ベネチア大学教授（都市計画・建築）から、UNESCO世界遺産センター長を経て、同副事務局長。本年8月よりベネチア建築大学（IUAV）教授。都市研究プラザが2010年に発刊した City, Culture and Society (Elsevir) の Editor-in-chief に就任予定。

●クラウス・クンツマン（Klaus Kunzmann）
ドルトムント大学名誉教授
都市計画・創造都市論の世界的権威。ロンドン・王立都市計画協会名誉会員や世界の大学の客員教授をこなし、EUや中国、日本のプロジェクトなどを完遂するとともに清華大学や東南大学などで現在も特別講義などを行い、後進の指導に当たる。著書多数。

●阿部昌樹（Abe Masaki）
大阪市立大学都市研究プラザ所長
京都大学、ノースウェスタン大学修士を経て、大阪市立大学法学研究科教授。2014年より都市研究プラザ所長。専攻は法社会学。著書に『ローカルな法秩序』『争訟化する地方自治』（共に勁草書房）など多数。

●近藤誠一（Kondo Seiichi）
前文化庁長官
外務省（デンマーク大使ほか）を経て、2010年より13年まで文化庁長官を歴任。富士山を松島も含めた世界文化遺産に押し上げた手腕・功績は高く評価されている。

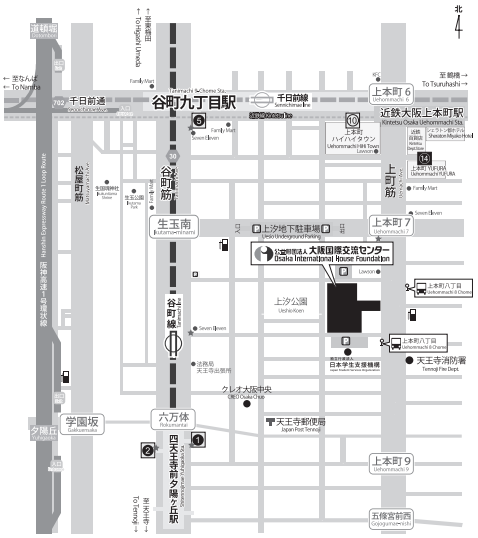
●クサビエ・グレフ（Xavier Greffe）
パリ第一大学（ソロボンヌ）教授
文化経済学の世界的権威であり、UNESCOを始め多くの国際機関・国家などと都市文化研究や開発プロジェクトを実施してきた。和書に『フランスの文化政策:芸術作品の創造と文化的実践』（水曜社）など多数。

●シャロン・ズーキン（Sharon Zukin）
ニューヨーク市立大学ブルックリン校
および同大大学院センター教授
ニューヨークに長年暮らし、様々な都市の問題性について提言を行ってきた。近著として『都市はなぜ魂を失ったか：ジェイコブズ後のニューヨーク』（講談社）などがある。来年の国際都市創造性学会AUCの大会委員長に就任予定。

●岡野　浩（Okano Hiroshi）
大阪市立大学都市研究プラザ副所長
ロンドン大学（LSE）、ESSEC客員教授などを経て、経営学研究科教授（現在は併任教授）。製品開発、都市戦略・管理会計専攻。アメリカ会計史学会会長などを歴任。City, Culture and Society (Elsevier) の Managing Editor。『大阪・八尾の都市創造性』（都市研究プラザ）・『グローバル戦略会計』（有斐閣）など。

1日目

日　時：平成26年7月22日（火）
9:15～17:55（開場8:45）
会　場：大阪国際交流センター
大阪市天王寺区上本町8-2-6
定　員：200名
申　込：不要　直接会場へお越しください。
参加費：無料
挨　拶：西澤　良記（大阪市立大学学長）、
蔵野　芳男（大阪国際交流センター理事長）
宮前　保子（国際花と緑の博覧会記念協会専務理事）
山西　良平（大阪市立自然史博物館館長）
講演者：アーリング・ノルビ、フランシスコ・バンダリン、
クサビエ・グレフ、近藤誠一ほか
実行委員長：岡野　浩（上記参照）
総合司会：潘　山海（大阪市立大学都市研究プラザ特任准教授）
※参加者については諸事情により変更の可能性もあります。



2日目

日　時：平成26年7月23日（水）
9:00～17:30（開場8:45）
会　場：大阪国際交流センター
大阪市天王寺区上本町8-2-6
定　員：200名
申　込：不要　直接会場へお越しください
参加費：無料　　使用言語：英語
WEB：http://www.auc3rd.com/

3日目　エクスカーション：植物園から見た自然と都市の創造性

日　時：平成26年7月24日（木）　9:00～17:30
会　場：大阪市立自然史博物館
大阪市東住吉区長居公園1-23
国際花と緑の博覧会記念協会
大阪市鶴見区緑地公園2-136
大阪市立大学理学部付属植物園
大阪府交野市私市2000
定　員：25名（先着順）
申　込：必要（締切7月10日）別途昼食代要。英語でのご案内となります。下記WEBよりお申込ください。
参加費：無料
WEB：http://www.auc3rd.com/#!registration/c154y

■お問い合わせ・連絡先
大阪市立大学　都市研究プラザ
〒558-8585　大阪市住吉区杉本3-3-138
TEL: 06-6605-2071　FAX: 06-6605-2069
E-mail : office@ur-plaza.osaka-cu.ac.jp
http://www.ur-plaza.osaka-cu.ac.jp/